

## 弘前学院大学看護学部専任教員 2018年度教育研究業績\*

\*2019年度現在の本学部専任教員が、2018年度（2018年4月～2019年3月）に発行・発表した教育研究業績（編著書、学術論文、その他、学会及び口頭発表等）を掲載する。掲載内容は各自の申告に基づく。掲載は職名ごとに五十音順とする。

大瀬 富士子（教授）

教育研究業績（編著書、学術論文、その他、学会及び口頭発表）

原著、学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月（日）	著書又は演者、発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称、巻（号）、頁
<b>【その他】</b>			
1. 弘学祭看護学部企画	共著	2018年11月	弘学時報, 第73号, p4
2. 授業内容や方法の改善に関する調査(報告)～学生による授業評価アンケート結果を踏まえた教員の授業改善状況～	共著	2019年1月	大瀬富士子, 川村泰子, 高橋義孝, 村岡裕介
3. 第14回看護学部リカレント教育を終えて	共著	2019年2月	弘学時報, 第74号, p2
4. 2018(平成30)年度リカレント教育委員会の活動	共著	2019年3月	大瀬富士子, 川村泰子, 石田萌, 木田優子

社会貢献（座長、研修会、模擬講義等）

事 項	年月日・期間
1. 2018年度オープンキャンパス看護学部プログラム模擬講義「赤ちゃん人形を優しく安全に抱っこするにはどうしたらいいの？揺さぶられっこ症候群」	2018年7月
2. 体験模擬授業「赤ちゃんの不思議—観察と沐浴を体験してみよう—」青森県立東高等学校平内校舎	2018年10月

高田 まり子（教授）

教育研究業績（編著書、学術論文、その他、学会及び口頭発表）

原著、学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月（日）	著書又は演者、発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称、巻（号）、頁
<b>【その他】</b>			
1. プロジェクト型学習を導入した在宅看護における災害看護の教育実践	単著	2019年3月	第25回大学教育研究フォーラム発表論文集 京都大学高等教育研究開発推進センター, p59

社会貢献（座長、研修会、模擬講義等）

事 項	年月日・期間
1. 2018年度第8回ワークショップ（東北の災害看護を考える会主催）企画・運営・座長	2018年5月
2. 2018年度夏季集中講義「共同授業」（大学コンソーシアム学都ひろさき主催）アドバイザー	2018年8月
3. 2018年度在宅看護グループ活動報告, 第47号（青森県看護教育研究会主催）第1発表者	2019年3月
4. 第25回大学教育研究フォーラム（京都大学高等教育研究開発推進センター主催）部会5座長	2019年3月

土屋 陽子 (学科長・教授)

教育研究業績 (編著書, 学術論文, その他, 学会及び口頭発表)

原著, 学術論文等の名称	単著・共著 等別	発行又は発表 の年月 (日)	著書又は演者, 発行所, 発表雑誌等又 は発表学会等の名称, 巻 (号), 頁
<b>【学会及び口頭発表】</b>			
1. 糖尿病患者のセルフケア状況と糖尿病 に対する考えの関連—糖尿病患者の主体 的なセルフケア行動の実行度を高めるた めに—	共著	2018年 9月	岩田大地, 土屋陽子, 大山和依, 綿貫 大智, 日本糖尿病教育・看護学会誌22 巻特別号, 182
2. 糖尿病患者の多項目短時間唾液検査結 果から見た口腔内状況の関連と検査に対 する反応と変化	共著	2018年 9月	大山和依, 土屋陽子, 岩田大地, 綿貫 大智, 日本糖尿病教育・看護学会誌22 巻特別号, 188
3. 糖尿病患者の口腔内状況と多項目短時 間唾液検査結果から見たセルフケア意欲 との関連	共著	2018年 9月	綿貫大智, 土屋陽子, 岩田大地, 大山 和依, 日本糖尿病教育・看護学会誌22 巻特別号, 188

三上 聖治 (教授)

教育研究業績 (編著書, 学術論文, その他, 学会及び口頭発表)

原著, 学術論文等の名称	単著・共著 等別	発行又は発表 の年月 (日)	著書又は演者, 発行所, 発表雑誌等又 は発表学会等の名称, 巻 (号), 頁
<b>【学会及び口頭発表】</b>			
1. 若年女性の尿トラブルに関する実態調 査 その1	共著	2019年 3月	五十嵐世津子, 川崎くみ子, 平川美和 子, 中島里美, 藤岡美幸, 真野由紀子, 野坂大喜, 三上聖治, 木田和幸, 保健 科学研究, 9 (2), 81
2. 若年女性の尿トラブルに関する実態調 査 その2	共著	2019年 3月	中島里美, 五十嵐世津子, 川崎くみ子, 平川美和子, 藤岡美幸, 真野由紀子, 野坂大喜, 三上聖治, 木田和幸, 保健 科学研究, 9 (2), 82

社会貢献 (座長, 研修会, 模擬講義等)

事 項	年月日・期間
1. 社会福祉法人弘前草右会職員研修会 講師 食の安全と公衆衛生学	2018年10月 弘前市社会福 祉センター

柳澤 尚代 (学部長・教授)

教育研究業績 (編著書, 学術論文, その他, 学会及び口頭発表)

原著, 学術論文等の名称	単著・共著 等別	発行又は発表 の年月 (日)	著書又は演者, 発行所, 発表雑誌等又 は発表学会等の名称, 巻 (号), 頁
<b>【その他】</b>			
1. こんなときどうすればいい? 職場の 疑問・不安に答える保健師記録 Q&A そ の2	共著	2018年 4月	柳澤尚代, 吉本照子, 清水洋子, 菅原 京子, 医学書院, 保健師ジャーナル74 巻 (4), p.338-342
<b>【学会及び口頭発表】</b>			
1. 保健師記録に関する自治体の組織対応 および記録作成の実態と課題	共著	2018年10月	柳澤尚代, 吉本照子, 菅原京子, 清水 洋子, 第77回公衆衛生学会総会抄録集, p.533

2. 時代が求める保健師記録の仕組みづくり！～“誰もが質の高い記録を書ける”ことを目指した職場の仕組みづくりを考えてみましょう！～	共著	2019年1月	柳澤尚代, 菅原京子, 吉本照子, 清水洋子, 第7回日本公衆衛生看護学会学術集会 ワークショップ, p.101
---	----	---------	--

## 社会貢献 (座長, 研修会, 模擬講義等)

事項	年月日・期間
1. 青森県保健師活動指針改定委員会の委員長として, 青森県内の行政に所属する保健師が専門性を発揮した地域保健活動を実践できるよう活動指針改定版を作成した。活動指針は, 平成20年度に初めて作成され, 5年ごとに直し改定版を作成している。私は, 学識経験者の立場で参加した。	2018年9月～ 2019年3月
2. 座長: 第77回日本公衆衛生学会 (公衆衛生従事者育成) 第15分科会	2018年10月
3. リカレント教育: 現場で役に立つ質的研究の進め方～グループワークを通して質的データを分析してみませんか～, 弘前学院大学看護学部	2018年9月
4. 研修会: 地域診断を活かした保健師活動について～地域診断の進め方～, 青森県五所川原保健所	2018年7月
5. 研修会: こう書けばわかる! 保健師記録～開示請求にも対応した保健師記録の在り方と実践活動に活かすポイントを理解する～, 東京都武蔵野市保健センター	2018年7月
6. 研修会: 住民の声を施策につなげよう ～保健師の記録を活かす方略～, 秋田県看護協会	2018年8月
7. 研修会: 時代が求める保健師記録 ～誰でも質の高い記録を書くには～, 沖縄県保健医療部	2018年8月
8. 研修会: 保健師活動の質向上に向けた記録の書き方/演習, 岩手県保健福祉部	2018年9月
9. 研修会: ①地域包括ケア時代の保健師記録, 関係機関との情報共有の在り方, ②グループワーク及び発表～地域包括ケアにおける多職種・多機関連携の課題～, 日本公衆衛生協会近畿ブロック	2018年9月
10. 研修会: 保健師記録について, 青森県地域県民局地域健康福祉部	2018年9月
11. 研修会: 「こう書けば分かる! 保健師記録」～開示請求にも対応した保健師記録のあり方と実践活動に活かすポイントを理解する～, 宮城県保健師連絡協議会	2018年11月
12. 研修会: 保健師記録について, 奈良県都市衛生協議会	2019年1月
13. 研修会: 保健師記録について (セカンド研修), 青森県地域県民局地域健康福祉部	2019年2月
14. 研修会: 保健師としてのアセスメント力を高める～誰もが良い記録を書くために～, 中南地域県民局地域健康福祉部	2019年2月
15. 研修会: 誰もが良い記録を書くための仕組みづくり, 愛知県一宮市保健センター	2019年3月

## 吉岡 利忠 (学長・教授)

## 教育研究業績 (編著書, 学術論文, その他, 学会及び口頭発表)

原著, 学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月 (日)	著書又は演者, 発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称, 巻 (号), 頁
<b>【学会及び口頭発表】</b>			
1. 長期間の抗酸化食摂取と機能的過負荷が筋肥大に及ぼす影響	共著	2018年9月	杉浦崇夫, 芝口翼, 宮司進之, 内藤久士, 後藤勝正, 吉岡利忠, 第73回日本体力医学会大会 (福井県福井市)
2. 培養骨格筋細胞の増殖と分化における直鎖状ユビキチン鎖リガーゼ複合体 LUBAC の機能	共著	2018年9月	中村晃大, 藤本理沙, Quiroga Huascar, 山下智大, 伊藤理香, 横山真吾, 大野善隆, 大橋和也, 杉浦崇夫, 大平充宣, 吉岡利忠, 後藤勝正, 第73回日本体力医学会大会 (福井県福井市)
3. 哺乳類骨格筋細胞の分化における HSF2 および HSF4 の役割	共著	2018年9月	藤本理沙, 中村晃大, 山下智大, Quiroga Huascar, 伊藤理香, 横山真吾, 大野善隆, 大橋和也, 杉浦崇夫, 大平充宣, 吉岡利忠, 後藤勝正, 第73回日本体力医学会大会 (福井県福井市)

4. 哺乳類骨格筋細胞における Hikeshi タンパク質の発現	共著	2018年 9月	山下智大, Quiroga Huascar, 中村晃大, 藤本理沙, 伊藤理香, 横山真吾, 大野善隆, 大橋和也, 杉浦崇夫, 大平充宣, 吉岡利忠, 後藤勝正, 第73回日本体力医学会大会 (福井県福井市)
5. 高齢福祉分野での実習経験と高齢福祉分野への就職の関連性の検討	共著	2018年10月	丸山龍太, 玉井厚, 吉岡利忠, 第27回青森県長寿研究会 (青森県青森市)
6. 大学生におけるカフェイン摂取の実態調査について	共著	2018年12月	鳴海晃, 吉岡利忠, 第3回青森県医学会 (青森県青森市)
<b>【学術論文】</b>			
1. Effect of a combination of astaxanthin supplementation, heat stress, and intermittent reloading on satellite cells during disuse muscle atrophy.	共著	2018年11月	T.Yoshihara, T.Sugiura, N.Miyaji, Y.Yamamoto, T.Shibaguchi, R.Kakigi, H.Naito, K.Goto, D.Ohmori, T.Yoshioka, J Zhejiang Univ Sci B 19 (11), 844-852
2. Age-related changes in myostatin expression in rat skeletal muscles	共著	2018年 7月	T.Shibaguchi, T.Maeoka, T.Yoshihara, H.Naito, K.Goto, T.Yoshioka, T.Sugiura, J Phys Fitness Sports Med, 7 (4), 221-227
<b>【その他】</b>			
1. 弘前市医師会だより「神頼み」	単著	2018年 9月	青森県医師会報, 第664号, 737~738頁
2. 平成30年度弘前市医師会ねぶた運行録「神頼み」	単著	2018年 7・8月号	弘前市医師会報, 第380号, 45~48頁
3. ドーピング防止の基本	単著	2018年 7・8月号	弘前市医師会報, 第380号, 62頁
4. 第35回青森県医師会生涯教育講座—報告— [講演1]	単著	2018年11・12月号	弘前市医師会報, 第382号, 41~42頁
5. 第4回キリスト教看護教育推進会議	単著	2019年 1月	キリスト教学校教育 (新聞記事)
6. 医療従事者におけるコミュニケーションへの一考	単著	2019年 3月	弘前学院大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学研究, 第7号, 5~10頁
<b>【編著書】</b>			
1. あおもり食育検定公式テキスト 2018	単著	2018年 4月	あおもり食育検定委員会 (委員長), 1~113頁
<b>【講演】</b>			
1. 医療と介護及び福祉の連携	単著	2018年 5月	ME/CFS 世界啓発デー in ひろさき (青森県弘前市)
2. スポーツ医学に関する話	単著	2018年 6月	弘前学院聖愛中学高等学校⑦チャレンジコース (青森県弘前市)
3. こころの健康, こころの不健康	単著	2018年 7月	本学礼拝奨励 (青森県弘前市)
4. 若く, 美しく, 逞しく一筋肉がすることできること—	単著	2018年 9月	東北化学薬品株式会社「健康講話」(青森県弘前市)
5. キリスト教を背景にした看護学学生が必要なコミュニケーション能力	単著	2018年11月	キリスト教学校教育同盟第4回キリスト教看護教育推進会議 (青森県弘前市)

## 社会貢献 (座長, 研修会, 模擬講義等)

事 項	年月日・期間
1. 第16回津軽健康大学 市民公開講座 座長 エッセイスト・医師 海原純子「ストレスをのりきりいきいき歳を重ねよう」(青森県弘前市, ホテルニューキャッスル)	2018年 9月
2. キリスト教学校教育同盟 第4回看護教育推進会議 開催 (青森県弘前市, 弘前学院大学礼拝堂)	2018年11月
3. 市民公開講座 座長 参議員・医師 自見はなこ「笑顔で伸ばそう健康寿命」 (青森県弘前市, ホテルニューキャッスル)	2018年11月

井澤 美樹子 (准教授)

教育研究業績 (編著書, 学術論文, その他, 学会及び口頭発表)

原著, 学術論文等の名称	単著・共著 等別	発行又は発表 の年月 (日)	著書又は演者, 発行所, 発表雑誌等又 は発表学会等の名称, 巻 (号), 頁
<b>【学会及び口頭発表】</b> 1. 認知行動療法を活用した糖尿病看護実践教育プログラム—他者変化を意識した研修方法の視点から—	共同	2018年 9月	市川美奈子, 井澤美樹子, 第23回日本糖尿病教育・看護学学術集会抄録集, 22巻, p.191, 2018

社会貢献 (座長, 研修会, 模擬講義等)

事 項	年月日・期間
1. 第23回日本糖尿病教育・看護学学術集会 座長	2018年 9月
2. 青森県立保健大学 ココかれっじ 講師	2019年 1月

川村 泰子 (准教授)

教育研究業績 (編著書, 学術論文, その他, 学会及び口頭発表)

原著, 学術論文等の名称	単著・共著 等別	発行又は発表 の年月 (日)	著書又は演者, 発行所, 発表雑誌等又 は発表学会等の名称, 巻 (号), 頁
<b>【その他】</b> 1. 2018 (平成30) 年度リカレント教育委員会の活動	共著	2019年 3月	大瀬富士子, 川村泰子, 石田萌, 木田優子, 看護学部リカレント委員会, 総19頁

社会貢献 (座長, 研修会, 模擬講義等)

事 項	年月日・期間
1. 藤崎町いじめ問題対策審議会委員	2017年10月～
2. 藤崎町こころの相談「精神保健に関する個別相談及び保健師が担当する事例に対する助言」	2018年 4月～
3. 弘前学院大学新入生リトリート「喫煙・飲酒と健康」	2018年 4月
4. 青森 SCD/MSA 友の会 (隔月日曜日) 青森 SCD/MSA 友の会コーディネーター	2018年 4月～
5. 2018年弘前学院大学 第4回オープンキャンパス模擬講義「かだらの“音”を聴いたことはありませんか」	2018年 9月
6. 弘前学院大学地域総合文化研究所「地域の文化と健康」	2018年10月
7. 青森県看護協会職能委員会「統括保健師の配置に関する意識調査」	2019年 3月

木村 美智子 (准教授)

教育研究業績 (編著書, 学術論文, その他, 学会及び口頭発表)

原著, 学術論文等の名称	単著・共著 等別	発行又は発表 の年月 (日)	著書又は演者, 発行所, 発表雑誌等又 は発表学会等の名称, 巻 (号), 頁
<b>【学会及び口頭発表】</b> 1. 熟練精神科訪問看護師が実践する統合失調症者への臨床判断	共同発表	2018年 6月	平松悦子, 難波峰子, 木村美智子, 第28回日本精神保健看護学会 (東京)
2. 長期拘束患者の行動制限からの開放に向けての取り組み	共同発表	2018年12月	仲村純, 木村美智子, 山本孝子, 第10回ヒューマンケア研究学会学術集会 (兵庫)

社会貢献 (座長, 研修会, 模擬講義等)

事 項	年月日・期間
1. 医療法人 古橋会 掛保川病院看護部事例検討会講師: 気分変動の激し患者の対応について	2018年 4月
2. 医療法人 古橋会 掛保川病院看護部事例検討会講師: DV による PTSD を背景として急性期一過性精神病性障害の患者の今後に向けて	2018年 6月

3. 医療法人 古橋会 揖保川病院看護部事例検討会講師：アルコール飲用からCPMを発症した30代男性への今後に向けた関わり方を考える	2018年8月
4. 医療法人 古橋会 揖保川病院看護部事例検討会講師：BPSDの激し患者への関りについて	2018年10月
5. 医療法人 古橋会 揖保川病院看護部事例検討会講師：精神症状憎悪を繰り返す統合失調症の患者対応	2018年12月
6. 揖保地区看護連合会研究発表	2019年2月
7. 医療法人 古橋会 揖保川病院看護部事例検討会講師：統合失調症患者の感情障害への関りについて	2019年2月

幸山 靖子（准教授）

教育研究業績（編著書，学術論文，その他，学会及び口頭発表）

原著，学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月（日）	著書又は演者，発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称，巻（号），頁
<b>【学術論文】</b>			
1.（報告）基礎看護学実習でのコミュニケーション冊子の有用性と課題	共著	2019年3月	阿部智美，石田萌，幸山靖子，弘前学院大学看護紀要，第14巻，15-22

菅原 大輔（准教授）

教育研究業績（編著書，学術論文，その他，学会及び口頭発表）

原著，学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月（日）	著書又は演者，発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称，巻（号），頁
<b>【学会及び口頭発表】</b>			
1. 青森県内の精神科デイケアにおける困難な現状	単著	2018年6月	第36回看護研究論文発表会（日本精神科看護協会青森県支部主催）

社会貢献（座長，研修会，模擬講義等）

事 項	年月日・期間
1. 講演「効果的なプレゼンテーションについて」青森市はまなす会館	2018年6月
2. 看護研究論文発表会 看護研究発表のコーディネーター 日本精神科看護協会青森県支部 第36回看護研究論文発表会	2018年6月
3. 第2回オープンキャンパス看護学部プログラム 「お酒を飲むと脳にどのような影響があるの？」	2018年7月
4. 看護研究論文発表会 看護研究発表のコーディネーター 日本精神科看護協会 第23回東北精神科看護学術集会	2018年10月

館山 光子（准教授）

教育研究業績（編著書，学術論文，その他，学会及び口頭発表）

原著，学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月（日）	著書又は演者，発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称，巻（号），頁
<b>【編著書】</b>			
1. はじめてでも迷わない看護のためのケーススタディ（医学書院・全101頁）	共著	2019年2月	古橋洋子（編著），松島正起，秋庭由佳，今野葉月，館山光子，Ⅲ. ケーススタディの実際，4. 文献研究による実践例を執筆

阿部 智美 (講師)

教育研究業績 (編著書, 学術論文, その他, 学会及び口頭発表)

原著, 学術論文等の名称	単著・共著 等別	発行又は発表 の年月 (日)	著書又は演者, 発行所, 発表雑誌等又 は発表学会等の名称, 巻 (号), 頁
<b>【学術論文】</b>			
1. Negative Mood, Hope for the Future and Social Capital among Young Japanese: A Secondary Analysis of Individual Data	共著	2018年 6月	Tomomi Abe, Jun Aida, Ken Osaka, School Health, 14, 12-20
2. 基礎看護学実習でのコミュニケーション冊子の有用性と課題	共著	2019年 3月	阿部智美, 石田萌, 幸山靖子, 弘前学院大学看護紀要, 14 (1), 15-22

社会貢献 (座長, 研修会, 模擬講義等)

事 項	年月日・期間
2018年度 弘前学院大学 第5回オープンキャンパス 模擬講義「看護学生と一緒に血圧測定を体験しよう！」	2019年 3月

小野 綾 (講師)

教育研究業績 (編著書, 学術論文, その他, 学会及び口頭発表)

原著, 学術論文等の名称	単著・共著 等別	発行又は発表 の年月 (日)	著書又は演者, 発行所, 発表雑誌等又 は発表学会等の名称, 巻 (号), 頁
<b>【口頭発表】</b>			
1. 続・特殊災害教育を考える—化学剤曝露と放射線被ばくについて	共同	2018年 3月	小野綾, 工藤せい子, 齋藤美紀子, 高間木静香, 米内山千賀子, 扇野綾子, 葛西敦子, 北島麻衣子, 會津桂子, 齋藤久美子, 野戸結花, 木村綾子, 青森県看護教育研究会誌, 47号, 16-21
2. 平成30年度 人間—看護グループの活動報告	共同	2018年 3月	田中克枝, 小笠原みや子, 平川美和子, 山崎千鶴, 木立麻紀, 久保宣子, 大崎瑞恵, 福岡裕美子, 谷川涼子, 小野綾, 青森県看護教育研究会
<b>【学術論文】</b>			
1. 続・特殊災害教育を考える—化学剤曝露と放射線被ばくについて	共著	2018年 3月	小野綾, 工藤せい子, 齋藤美紀子, 高間木静香, 米内山千賀子, 扇野綾子, 葛西敦子, 北島麻衣子, 會津桂子, 齋藤久美子, 野戸結花, 木村綾子, 青森県看護教育研究会誌, 47号, 16-21
2. 平成30年度 人間—看護グループの活動報告	共著	2018年 3月	田中克枝, 小笠原みや子, 平川美和子, 山崎千鶴, 木立麻紀, 久保宣子, 大崎瑞恵, 福岡裕美子, 谷川涼子, 小野綾, 青森県看護教育研究会誌, 47号, 33-35

社会貢献 (座長, 研修会, 模擬講義等)

事 項	年月日・期間
1. 『青森県看護教育研究会第47号』 編集長	2018年 4月 ~ 2019年 3月
2. 弘前学院大学地域総合文化研究所編 『地域学 15巻』 編集長	2018年 4月 ~ 2019年 3月

齊藤 史恵 (講師)

教育研究業績 (編著書, 学術論文, その他, 学会及び口頭発表)

原著, 学術論文等の名称	単著・共著 等別	発行又は発表 の年月 (日)	著書又は演者, 発行所, 発表雑誌等又 は発表学会等の名称, 巻 (号), 頁
<b>【学術論文】</b>			
1. ピア評価がもたらす看護学生の学習への責任性への認識と課題～学生の語りからの分析～	共著	2019年3月	齊藤史恵, 漆沢舞, 弘前学院大学看護紀要, 第14巻, 1-14
2. A県ファミリーサポートセンター事業の活動に関する実態調査—サポーターのサポート活動の現状と活動への参加動機—	共著	2019年3月	中村祥子, 齋藤美紀子, 中久喜町子, 吉川由希子, 山野内靖子, 齊藤史恵, 青森中央学院大学研究紀要, 30-31巻, 43-52
<b>【口頭発表】</b>			
1. ファミリー・サポート・センター事業の活動におけるサポーターのやりがいと活動のために期待する支援	共著	2018年6月	齋藤美紀子, 中村祥子, 吉川由希子, 山野内靖子, 齊藤史恵, 中久喜町子, 第65回小児保健協会学術集会講演集, P221
2. ファミリー・サポート・センター事業における病児・病後児預かりの現状—アドバイザーへのインタビューから—	共著	2018年6月	吉川由希子, 齋藤美紀子, 山野内靖子, 中村祥子, 齊藤史恵, 中久喜町子, 第65回小児保健協会学術集会講演集, P222
3. ファミリー・サポート・センター事業における病児・病後児預かりの実態—サポーターのインタビューから—	共著	2018年7月	中村祥子, 中久喜町子, 齋藤美紀子, 齊藤史恵, 山野内靖子, 吉川由希子, 日本小児看護学会第28回学術集会講演集, P178
<b>【その他】</b>			
1. 成育医療・移行期支援に関する教育の現状と看護教員の認識調査について	共著	2019年3月	石切麻希子, 齋藤美紀子, 伊藤耕嗣, 扇野綾子, 木田優子, 工藤美恵子, 齊藤史恵, 佐々木真湖, 谷川涼子, 中久喜町子, 橋本美亜, 山野内靖子, 中村祥子, 青森県看護教育研究会誌第47号, 28-32

田中 真実 (講師)

教育研究業績 (編著書, 学術論文, その他, 学会及び口頭発表)

原著, 学術論文等の名称	単著・共著 等別	発行又は発表 の年月 (日)	著書又は演者, 発行所, 発表雑誌等又 は発表学会等の名称, 巻 (号), 頁
<b>【学術論文】</b>			
1. Intracellular protons accelerate aging and switch on aging hallmarks in mice	共著	2018年12月	Osanai T, <u>Tanaka M</u> , Izumiyama K, Mikami K, Kitajima M, Tomisawa T, Magota K, Tomita H, Okumura K, J. Cell. Biochem, 119 (12), 9825-9837
2. Novel anti-aging gene NM_026333 contributes to proton-induced aging via NCX1-pathway	共著	2018年12月	Osanai T, <u>Tanaka M</u> , Mikami K, Kitajima M, Kitajima M, Tomisawa T, Magota K, Tomita H, Okumura K, J Mol Cell Cardiol, 125, 174-184
3. Blood Pressure-Independent Effect of Olmesartan on Albuminuria in Mice Overexpressing Renin	共著	2018年11月	Ichikawa H, Narita I, Narita M, Tanno T, Yokono Y, Kimura Y, <u>Tanaka M</u> , Osanai T, Okumura K, Tomita H, Int Heart J, 28, 59 (6), 1445-1453

<b>【学会及び口頭発表】</b>			
1. p122RhoGAP/DLC-1 Overexpression Enhances Intracellular Calcium Concentration and Causes Coronary Spasm: Potential Role for Coronary Spastic Angina.	共同	2018年11月	Kudo N, Kimura Y, Hanada K, Kato T, Tsushima M, Toyama Y, Yokono Y, Senoo M, Narita N, Narita M, Yonekura M, Ichikawa H, <u>Tanaka M</u> , Osanai T, Okumura K, Tomita H, American Heart Association, Chicago
2. Carvedilol Suppresses Coronary Spasm in A-Kinase Anchoring Protein 150 Knock-out Mice: Its Novel Therapeutic Role in Coronary Spastic Angina.	共同	2018年11月	Narita N, Hanada K, Kawamura Y, Nozaka M, Kato T, Kudo N, Yokono Y, Senoo M, Narita M, <u>Tanaka M</u> , Osanai T, Okumura K, Tomita H, American Heart Association, Chicago
3. Inhibitory Effects of Rivaroxaban, a Direct Factor Xa Inhibitor, on Cardiac Hypertrophy and Fibrosis in Renin-Over-expressing Hypertensive Mice.	共同	2018年11月	Narita M, Hanada K, Yokono Y, Senoo M, Narita N, Kudo N, Kato T, Nozaka M, Kawamura Y, <u>Tanaka M</u> , Shimada M, Osanai T, Okumura K, Tomita H, American Heart Association, Chicago

村岡 祐介 (助教)

教育研究業績 (編著書, 学術論文, その他, 学会及び口頭発表)

原著, 学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月 (日)	著書又は演者, 発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称, 巻 (号), 頁
<b>【学会及び口頭発表】</b>			
妊娠に対する配偶者の意識について	共著	2018年 6 月	多喜代健吾, 樋口 毅, 村岡祐介, 他, 第3回青森県母性衛生学会学術講演会

木田 優子 (助手)

教育研究業績 (編著書, 学術論文, その他, 学会及び口頭発表)

原著, 学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月 (日)	著書又は演者, 発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称, 巻 (号), 頁
<b>【その他】</b>			
1. 成育医療・移行期支援に関する教育の現状と看護教員の認識調査について	共著	2019年 3 月	石切麻紀子, 齋藤美紀子, 伊藤耕嗣, 扇野綾子, 木田優子, 工藤美恵子, 齊藤史恵, 佐々木真湖, 谷川涼子, 中久喜町子, 橋本美亜, 山野内靖子, 中村祥子, 青森県看護教育研究会誌, 第47号, p 28~32
2. 2018 (平成30) 年度リカレント教育委員会の活動	共著	2019年 3 月	大瀬富士子, 川村泰子, 石田萌, <u>木田優子</u>